



長押金具・障子金具 繊細で優美な鋳意匠



長押金具・障子金具 魚々子の細かさは驚異的だ

# 工芸として鋳金具の美意識・意匠・技

## 加茂定 (京都)



障子門金具



柱金具

中段鋳は透かし地彫り  
で紅葉の上に桜を散ら

◎加茂定 TEL075  
(351) 0128

鋳自体は地彫りを基本  
としているが、長押(上  
框)鋳の魚々子の細かさ  
は現在ほとんど見るこ  
とが出来ない。意匠は鉄  
仙。

塗り・箔・蒔絵・彫刻・  
鋳に最高峰の技が使われ  
たこの仏壇はまさに最高  
峰の仏壇である。

加茂定(京都)は様々  
な鋳の逸品を所蔵する  
が、今回は仏壇鋳の実際  
の構成を拝見させて頂い  
た。実は、この仏壇鋳に  
ついては随分と以前に紹介  
したことがあるのだが、  
改めて拝見すると、その  
意匠と技術の高さに驚  
く。

鋳もそうだが、箔や塗  
りの仕上がりは全く衰え  
ていない。

障子鋳は菊透かし。左  
右非対称の図柄であるこ  
とが、写真からお分かり  
頂けると思う。菊文様は  
柱類にも使われている。

下段と引出の鋳は菊の  
地彫り。何よりも木瓜部  
分の曲線が魅力的だ。



上段金具 桜と紅葉の文様



上段金具



障子金具



塗り・箔・彫刻・蒔絵・鋳 現代日本の最高峰仏壇のひとつである加茂定の仏壇



裏門



内陣の構成



須弥壇